

- ✔ 屋外に出る犬や猫で食欲・元気がまったくくない
- ✔ 下痢・嘔吐などの消化器症状がある
- ✔ 発熱がある または ありそう
- ✔ 尿が異常に黄色い

このような症状がある場合は、まずお電話にてご相談ください。

📞 杉山獣医科 054-345-4669

診療時間 月～金 8:30～11:00 15:00～19:00
土曜日 8:30～11:00 15:00～17:00
(休診日：日曜日・祝日・木曜日午後)

また、面倒を見ている飼い主の方も感染する危険性があります。排泄物や唾液などの体液には直接触らないようにして、適切な感染防御を行うことをお勧めします。



杉山獣医科

〒424-0068 静岡市清水区長崎南町 9-60
TEL: 054-345-4669 FAX: 054-346-1896

SFTS からあなたと ペットを守るために (重症熱性血小板減少症症候群)

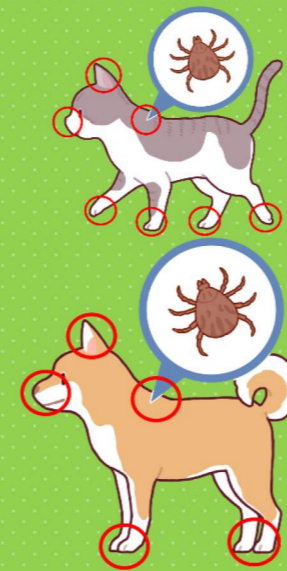
SFTS に感染した猫の約 60%、
犬の約 40%が死亡します。
人にも感染します。
人の致死率は 10～30%です。
大変こわい病気です。
このリーフレットをよく読んで
感染しないように気をつけてください。





SFTS（重症熱性血小板減少症候群）ってどんな病気？

SFTS ウイルスというウイルスを持ったマダニに咬まれると感染して、発症する病気です。
マダニは家ダニとは違うので、屋内だけで飼育されているペットは SFTS ウイルスに感染する心配はありません。



ペットにマダニがついていないかチェック！
マダニがいるのは、草むらや山林などです。たいてい草むらの葉っぱの先端や裏側にいて、動物や人が近づくと、その体に飛び移って吸血します。吸血する際にウイルスが感染します。
猫が外から帰ったり、犬と散歩から帰ったら、マダニがつきやすい頭、耳、指の間、顔まわりなどを重点的にチェックしてあげましょう。



フタトゲチマダニ



タカサゴキアラマダニ



感染すると、どんな症状がでますか？

猫の場合は、熱が出て、元気がなくなり、食欲が低下して、吐いたり、尿が黄色くなります。
犬の場合も猫と同じですが、下痢をして、血便がでます。あっという間に重症になって、感染した猫の約 60%、犬の約 40%が助かりません。



外から帰ってきたペットが、発熱、元気がない、食欲がない、尿が黄色といった症状がでたら、すぐに動物病院に☎電話で相談してください。
また、人も、感染したペットに咬まれたり、感染したペットの唾液、尿、便に直接接触したりすると SFTS ウイルスに感染することがありますので、十分に注意してください。



ワクチンや薬で予防はできないのですか？

今のところ、ワクチンも予防薬も治療薬もありません。熱や下痢などの症状をやわらげる薬を投与するしかありません。ですから、マダニに咬まれないようにすることが重要です。
ペットの体にマダニがついていたら、無理にとろうとせずに、すぐに動物病院に相談してください。



自分も感染しないように気をつけましょう！

SFTS ウイルスは人にも感染します。草むらや山林に入るときには、肌を露出しないようにしましょう。市販の虫よけスプレーは「ディート」「イカリジン」という成分が入ったものをおすすめします。
帰宅したら、上着や作業着は外で脱いで、シャワーや入浴で体にダニがついていないか確認しましょう。

もし自分がマダニに咬まれていたら！

ダニ類の多くは長時間（10 日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置を受けて下さい。数週間程度は体調の変化に注意して、発熱等の症状がでた場合は、医療機関で診察を受けてください。

